

『基礎講座 建築設備』第1版第1刷正誤表

本書におきまして、下記の誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに、ここに訂正させていただきます。

2021.2.28 学芸出版社

p10 左段 10 行目末・・・部分が抜けておりました。

温室効果ガスには、「二酸化炭素」だけでなく、「一酸化二窒素」「メタン」「フロン類」などが含まれる。

日本の CO₂ 排出量 (2015 年) は世界 5 位で、世界

全体の排出量の 3.5% を占めた。

p.64 右段 7～9 行目

(誤)・・・JIS 規格では、使用水量によって「節水Ⅰ型」「節水Ⅱ型」「一般型大便器」と規定している。

(正)・・・JIS 規格では、使用水量によって「Ⅰ型」(8.5ℓ以下)、「Ⅱ型」(6.5ℓ以下)と規定している。

p.65 表 2.7.3・・・下記を正とします。

便器の種類	洗浄水量
	JIS A 5207 (*1)
Ⅰ型	8.5ℓ以下
Ⅱ型	6.5ℓ以下

*1 JIS A 5207 (2019 年 11 月改定) による。

p.79 問題 2.7 選択肢 3

(誤) 大便器の洗浄水量は、JIS 規格では、使用水量によって「節水Ⅰ型」「節水Ⅱ型」「一般型大便器」と規定されている。

(正) 大便器の洗浄水量は、JIS 規格では、使用水量によって「Ⅰ型」「Ⅱ型」と規定されている。

p.158 表 4.3.1・・・下線箇所について、下記の通り訂正いたします。

	ガスタービンエンジン	ディーゼル機関エンジン	ガス機関エンジン
⋮			
起動時間	20～40 秒	5～ <u>30</u> 秒	10～40 秒
⋮			
出力範囲	200～10,000kW	10～8,000kW	<u>10</u> ～ <u>7,500</u> kW
熱効率	20～ <u>34</u> %	33～ <u>49</u> %	25～ <u>49</u> %

p.162 図 4.4.1・・・キャプションの「(図 4.1.1 より再掲)」は削除いたします。

p.178 表 4.6.7・・・※1 を削除いたします。

p.193 右段下から 5～8 行目 (問題 2.7 選択肢 3 の解説)

(誤) 正しい。8.50を超える便器が一般型大便器、8.5 ℓ以下が節水Ⅰ型 (タンク式、洗浄弁式)、6.5 ℓ以下が節水Ⅱ型 (タンク式、洗浄弁式 (専用洗浄弁式を含む))と規定されている。

(正) 正しい。8.50以下がⅠ型、6.50以下がⅡ型と規定されている。

p.197 左段・・・出典 43) を削除いたします。

p.198・・・下線箇所について、下記の通り訂正いたします。

7) 一般社団法人 日本電設工業協会編『新版 新人教育－電気設備 (改訂第 2 版)』(日本電設工業協会、2017) p.113、第 6表より抜粋

19) 一般社団法人 日本電設工業協会編『新版 新人教育－電気設備 (改訂第 2 版)』
削除
 (日本電設工業協会、2006) p.167、第 10 図

21) 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修『電気設備工事監理指針 令和元年版』(公共建築協会、2019) p.341、表 2.1.15 をもとに作成

以上